

団体概要書

令和 5年 3月10 現在

| | | | |
|--------------|--|---|--|
| 団体名 | (フリガナ) ホッカイドウ ヒバクシャキョウカイ | | 【活動風景】  被爆の証言と原爆展 2022年7月 於 道庁1階ロビー |
| | 一般社団法人 北海道被爆者協会 | | |
| 代表者 役職・氏名 | 会長 廣田 凱則 | | |
| 団体所在区 | 白石区 | | |
| 主な活動場所 | 札幌市内全域 | | |
| 電話番号 | (011)866-9545 | | |
| メールアドレス | dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp | | |
| HPアドレス | http://h-nomore-hibakusha.org | | |
| 設立年月 | 1960 年 6 月 | 活動開始年月 | 1960 年 6 月 |
| 設立目的 | 原爆資料館を開設運営すると共に、北海道内に居住する原爆被爆者（2世、3世を含む以下「被爆者」という。）及びその家族への援護対策の推進、その他必要な援護対策を行い、あわせて再び核戦争の惨禍を繰り返さないための努力を通じて、被爆者・国民の平和に寄与することを目的とする。 | | |
| 活動内容 | ①被爆者とその家族への援護施策の推進と被爆者慰霊事業 ②ノーモア・ヒバクシャ会館に原爆資料を展示し平和に寄与する。 ③こどもや若者、市民・道民に被爆体験を語り伝える。 ④再び被爆者をつくらないために核兵器廃絶の取り組みを進める。 | | |
| 活動実績 | 1960年 北海道被爆者団体協議会(北海道被爆者協会の前身)結成 1964年 全道9か所で特別健康診断(460名受診)。被爆者相談事業、今日まで続く。 1965年 原爆死没者北海道慰霊祭(今日の追悼会)始まる。今日まで続く。 1985年 札幌で中央相談所講習会開催、今日まで続く。 1988年 『被爆者の証言』第1集発刊。2016年に第4集発刊。 1992年 北海道ノーモア・ヒバクシャ会館竣工、翌年からオープン。 2003年 原爆症認定求め集団訴訟(2010年勝訴) 2017年 ヒバクシャ国際署名始まる(～2020年) | | |
| 活動分野 | <input type="checkbox"/> 1 保健、医療、福祉の増進 | <input checked="" type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 | |
| | <input type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 | <input type="checkbox"/> 11 国際協力の活動 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 | <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 | |
| | <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 | <input type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 | |
| | <input type="checkbox"/> 5 農山漁村又は中山間地域の振興 | <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 | |
| | <input type="checkbox"/> 6 学術、芸術、文化又はスポーツの振興 | <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 | |
| | <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 | <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 | |
| | <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 | <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する | |
| | <input type="checkbox"/> 9 地域安全活動 | <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護を図る活動 | |
| | <input type="checkbox"/> 19 前掲の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助 | | |